

東美濃こども歌舞伎(恵那市)

当保存会は、平成二十八年に「えななかつぎつず」の名称で五名の子供とその保護者で立ち上げました。衣裳、小道具、大道具を子供も大人も一緒になって試行錯誤しながら製作し、全てが手作りでのスタートでした。

令和元年には「東美濃こども歌舞伎」に名称を変更し、岐阜県地歌舞伎保存振興協議会に加盟しました。

当保存会では子供たちの自主性を大切にしつつ、仲間と共に舞台を作る喜びを体験してもらうため、年に一度、秋から冬にかけて自主公演を開催しています。当公演は市内各地域で毎年会場を変えて開催しており、その年ごとに違った雰囲気での公演を楽しむことができます。

古くからの伝統ある団体ではありませんが、様々な事業所様のレセプションに出演したり、地域のお祭りにて神社の舞台に立たせて頂いたり、子供たちにとって貴重な経験となっています。

今後も、より多くの子供たちに地歌舞伎を楽しんでもらえるよう、活動を充実させて参ります。



垂井曳軸保存会(垂井町)

垂井町では、毎年五月二日から四日にかけて垂井曳軸まつりが行われ、鳳凰山、攀鱗閣、紫雲閣の三輦の曳軸(県重要有形民俗文化財)を舞台に、子ども歌舞伎(町指定無形文化財)が披露されます。

この子ども歌舞伎は歴史が古く、江戸時代の安永年間(一七七二〜一七八二)に始まったと言われており、町内の男子小学生から選ばれた芸児によって演じられます。

芸児たちは、学校を約二週間休んで稽古に打ち込み、祭の三日間で十数回も舞台に立ちます。大人にも劣らない堂々さと可憐さ、かつ素人離れた演技と台詞は毎年多くの観衆を惹きつけています。

当保存会は、この伝統ある文化財を保護し、郷土文化の発展に寄与することを目的として、昭和三十六年に発足しました。

発足以降、曳軸の様々な維持修繕、全国文化芸術協会東京大会や全国子供歌舞伎フェスティバルへの出演など、精力的に活動を行ってきました。今後も、活動を通じて、垂井曳軸を守り後世へ継承してまいります。



清流の国ぎふ

地歌舞伎 勢揃い公演

初夏

いび祭りこども歌舞伎保存会(揖斐川町)

揖斐川町は「自然健康のまちいびがわ」を目指しており、文化活動が盛んな地です。その中でも三百余年の伝統を誇る「いび祭り」三輪神社例大祭は、豪華絢爛な五輦の軸(県有形民俗文化財)と多くの神輿が練り出され、毎年五月四日・五日に華やかに行われます。この五輦の軸は、三輪地区にある五つの町(上町、中町、下町、上新町、下新町)がそれぞれ保有しているもので、毎年交代でその軸の上で子ども歌舞伎が奉納(上演)されます。さらに五月三日には、祭りに先がけて「子ども歌舞伎特別披露」が地域交流センター「はなもも」にて行われています。当保存会は、平成十九年度全国子供歌舞伎フェスティバル出演を契機として、伝統をつないでいくことを目標に活動を行っています。

近年は、いび祭りこども歌舞伎塾を立ち上げ、義太夫の地元後継者育成に取り組むとともに、地域行事やイベントに出演するなど伝統芸能の保存・継承に励んでいます。平成三十年度には、これまでの活動が評価され、「岐阜県芸術文化奨励」を受賞しました。



持っました!!
大向こう・おひねりを再開しました!

ぎふ清流文化プラザ YouTubeチャンネル
地歌舞伎勢揃い公演の動画を配信中!

次回公演のお知らせ
2日間連続開催!
7月22日(土) 夏公演 其の志
7月23日(日) 夏公演 其の武

地歌舞伎とは

地歌舞伎とは、地元の素人役者たちによって演じられる、地域に根付いた歌舞伎です。江戸や上方で盛んであった歌舞伎は、地方を巡るプロの旅役者によって全国各地に広がり、それに憧れた地方の人々が神社の祭礼で演じたり、芝居小屋を造ったりと、自ら楽しむようになりました。現在、岐阜県には30を超える地歌舞伎保存団体が存在し、9軒の芝居小屋が各地に現存しています。岐阜県は全国有数の地歌舞伎が盛んな地であり、芝居小屋をはじめ、毎年各地で定期公演が開催されています。江戸時代から伝わる演目や振付が大切に受け継がれ、親しまれている岐阜県の地歌舞伎をご堪能ください。

清流の国ぎふ

地歌舞伎 勢揃い公演

初夏

2023年5月28日(日)

会場 ぎふ清流プラザ(ぎふ清流文化プラザ) 長良川ホール

開演 13時00分(開場12時00分)

上演外題・出演

13時00分(20分)

鬼(法眼三略巻) 五糸橋の段 東美濃こども歌舞伎(恵那市)

13時40分(60分)

恋め尻染分手綱 重の井系別れの段 垂井曳軸保存会(垂井町)

15時00分(60分)

絵本木幼記 十段目 厄ヶ崎開居の場 いび祭りこども歌舞伎保存会(揖斐川町)

終演16時00分(予定) 演目等は変更となる場合がございます。



いび祭りこども歌舞伎保存会



東美濃こども歌舞伎



垂井曳軸保存会

ライブ配信

公演の様子をぎふ清流文化プラザ YouTubeチャンネルで配信します。

ぎふ清流文化プラザ YouTubeチャンネル



イヤホン同時解説

演目の見どころやあらすじについて、分かりやすく解説します。

南山大学名誉教授 東海学園大学客員教授 安田 文吉氏



源氏再興のため、腕の立つ仲間を集めようと、五条橋に現れては通りかかる者の力を試していた牛若丸。それが、五条橋に辻斬りが出るといふ噂となつて瞬く間に広まり、弁慶の耳にも入ります。

その曲者を捕まえて従えようと考えた弁慶は五条橋にやつてきます。

すると橋のほとりに薄衣を被つた牛若丸が佇んでおり、その姿を女性だと信じ込んだ弁慶は思わず声をかけようとしませんが、法師の身でありながら女に声をかけるなどいけないことだと思いとどまります。

そのまま通り過ぎようとすれ違つたその時、牛若丸に薙刀を蹴り上げられて挑発されます。これが噂に聞く曲者に違いないと思つた弁慶は、力強く薙刀を振りかぶつて切りかかつていきますが、牛若丸に軽やかにかわされてしまします。

切りかかつても切りかかつてもヒラリヒラリとかわされ、ついに打ち負かされて降参した弁慶は、相手が源氏の若君、牛若丸であると知り、家来にしてほしいと申し出て三世の主従となることを誓うのでした。

恋女房染分手綱

重の井より別れの段

垂井史跡保存会(垂井町)

由留木家の息女調姫は、関東へ嫁入りすることになりますが、「いやじゃ」と言います。姫の機嫌を直すために呼び込まれたのが、自然薯の三吉と呼ばれる子供の馬子。三吉は、道中双六を持っていて、その遊びから姫は東国へ興味を持ち、出立する気になります。

三吉に褒美を与えようとした乳人重の井。三吉はその重の井を母だと言ひ出します。初めこそ勘違いだと言ひますが、この三吉こそ、別れた夫伊達与作との間にできた一子、与之助であることを知ります。かつて調姫の母に仕える腰元だった重の井は、同じ家中の与作と不義密通。後家の御法度を犯した罪で二人とも死罪になるところを、重の井の父定之進が切腹して愁訴し、調姫の母が重の井と同時に出産して乳人が必要という訴えによって与作は追放、重の井は乳人になったのでした。

もし、乳人に馬子の子がいるとなれば、調姫の縁談にもひびきかねません。重の井は泣く泣く三吉を追い返し、身を切られる思いで調姫とともに東へと旅立つて行くのでした。

絵本太功記

十段目 尼ヶ崎閑居の場

ごども歌舞伎保存会(掛斐川町)

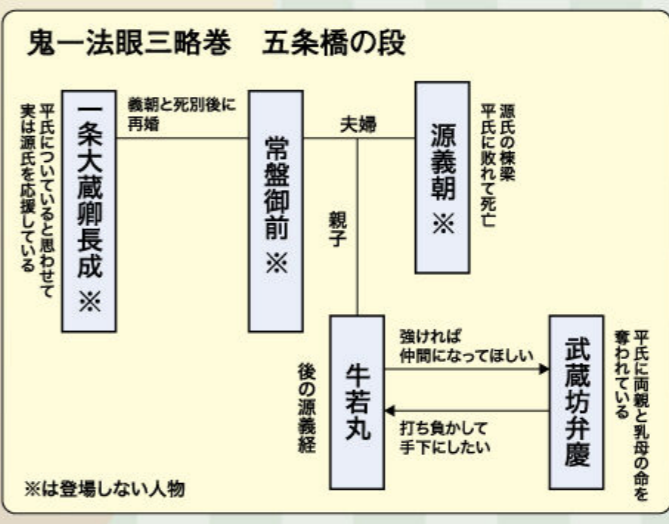
武智十兵衛光秀の子 武智十次郎光義は、本月初陣の門出を迎えます。出陣前に光秀の母 皇月のとりなしにより婚約者の初菊と祝言を挙げました。喜びもつかの間、時が迫り、出陣をする十次郎にすぎる初菊を振り切り、討死を覚悟して戦場へ向かいます。

本能寺において、光秀に、主君 小田上総介春永を討たれた真柴筑前守久吉は、旅僧に扮し、尼ヶ崎にある皇月の住まいに入り込んでいます。このことを知つた光秀は、家に忍び込み、持っていた竹槍を襖越しに刺し込みます。手負いを引き出すと、久吉ではなく、皇月に竹槍が刺さつていたのでした。騒ぎを聞き、初菊と共に光秀の妻操が駆け付けます。皇月は光秀を諫め、主君(春永)を討つたからだと言め息絶え、操は夫を恨み嘆きます。

そこへ、十次郎が戦場から戻り、敗戦を物語り、家族に見守られながら息絶えます。

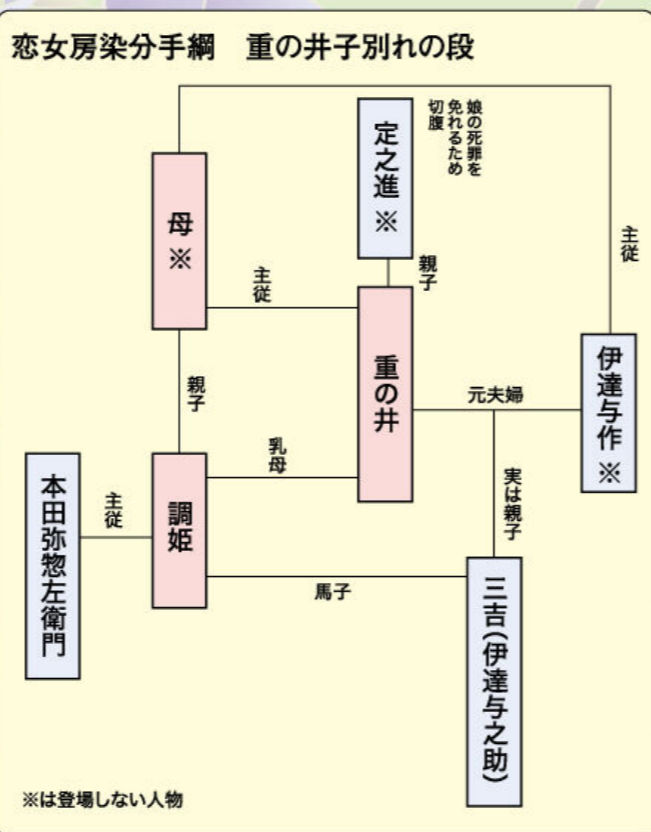
この重ね重ねの出来事に進退窮まった光秀の前に、久吉が現れ、互いの勝負は山崎の戦場で決しようと再開を約し、別れるのでした。

- 配役
武蔵坊弁慶 伊藤 百音 (中学三年生)
牛若丸 工藤 美空 (高校一年生)
後見 田口 雅 (中学一年生)
園原 早織 (小学四年生)



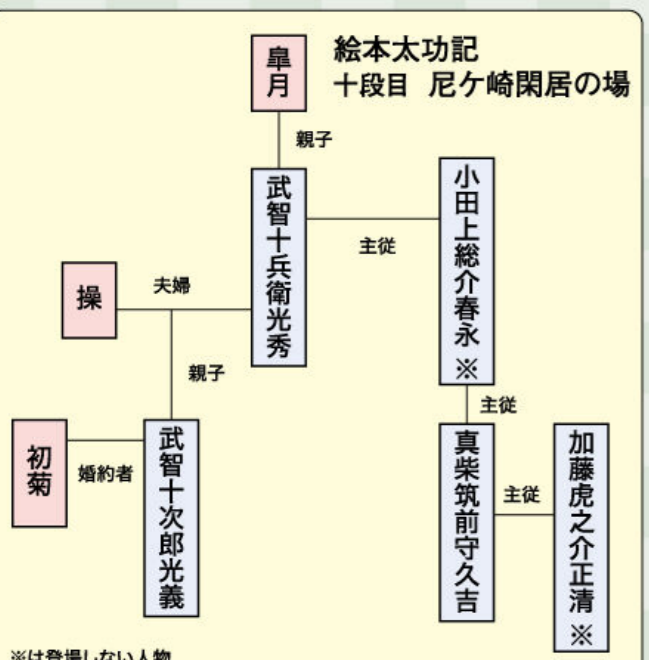
イヤホン同時解説
安田 文吉氏
日本近世文学、近世芸能文化研究者。南山大学名誉教授。東海学園大学客員教授。日本歌謡学会常任理事。東海近世文学学会代表。名古屋芸能文化会代表。名古屋三曲連盟理事長。令和元年度名古屋芸術特賞受賞。著書に『常磐津節の基礎的研究』(和泉書院、一九九二年、東洋音楽学会田辺尚雄賞受賞)、安田徳子氏との共著に『歌舞伎入門』(おうふう、一九九五年、『ひだみの地芝居の魅力』(岐阜新聞社、二〇〇九年)などがある。

- 配役
重の井 佐々木 悠翔 (小学五年生)
三吉(伊達与之助) 山仲 哲平 (小学四年生)
調姫 橋本 颯汰 (小学二年生)
本田弥惣左衛門 荒井 貴仁 (小学五年生)
お囃子 垂井祭囃保存会
平野 鳳晟 (小学五年生)



- 配役
武智十兵衛光秀 新川 智也 (中学一年生)
光秀妻 足立 華菜 (小学四年生)
光秀母 皇月 足立 夏渚 (小学六年生)
許嫁 初菊 新川 紬生 (小学三年生)
武智十次郎光義 山口 礼葉 (中学一年生)

- 協力
振付指導 市川 美満寿
義太夫指導 鶴澤 弥吉
太夫白上 伊勢山 未来 (中学三年生)
太夫 寺戸 莉奈 (中学三年生)
林 真白 (中学三年生)
石原 美優 (中学三年生)
石原 那奈 (中学三年生)
新川 利都子 (中学三年生)
川上 貸衣裳



- 協力
振付指導 市川 美満寿
義太夫指導 鶴澤 弥吉
太夫白上 伊勢山 未来 (中学三年生)
太夫 寺戸 莉奈 (中学三年生)
林 真白 (中学三年生)
石原 美優 (中学三年生)
石原 那奈 (中学三年生)
新川 利都子 (中学三年生)
川上 貸衣裳